

福岡市医師会 定例記者会見資料

ご質問と回答		
NO	ご質問	回答
1	・感染症シーズンを前に薬の在庫状況と医療への影響、市民の備え	2.総論 …スライド資料の中でお伝え致します。
2	・市内感染状況(コロナ・インフルエンザ)と第9波今後の拡大について	
3	・インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が起きた場合の医療現場の懸念や注意点	4.質疑応答 …質疑応答にてお伝え致します。
4	・季節性インフルエンザによる学級閉鎖などが相次ぎインフルエンザが例年より早く流行している背景	

※ご質問に対する回答は定例記者会見時点での内容です。今後の感染状況等により内容が変更になる場合があります。

令和5年10月4日

# 定例記者会見

令和5年10月4日(水) 13時30分

質疑応答

福岡市医師会 常任理事 平川 勝之

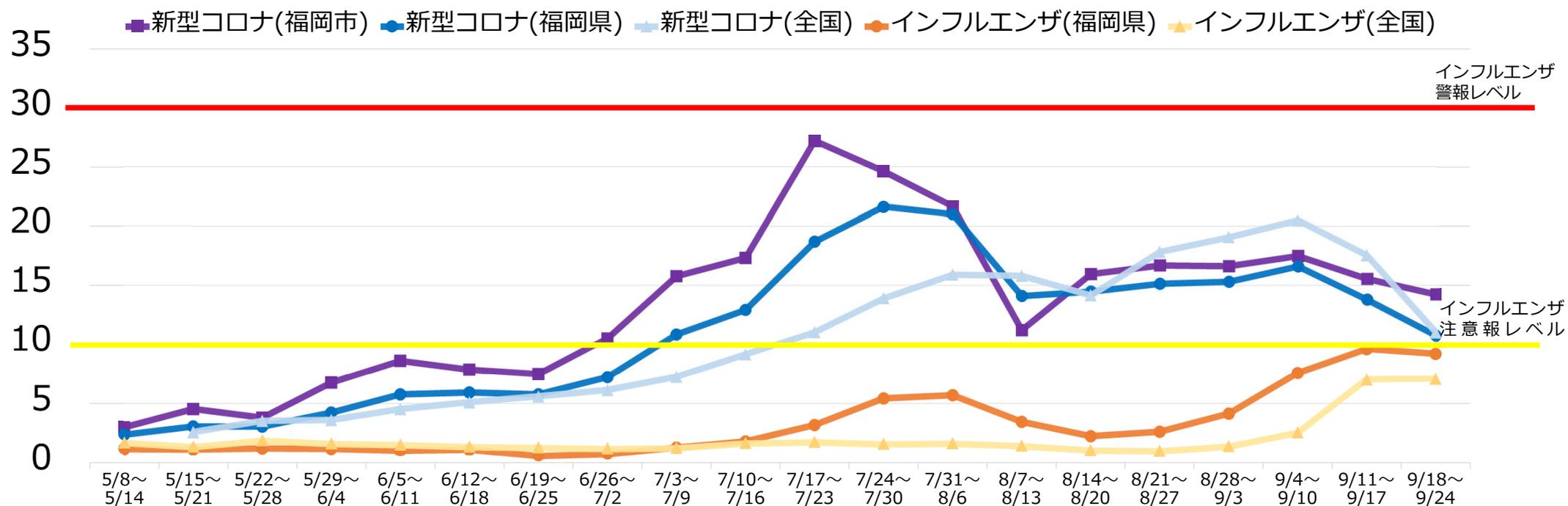
福岡市医師会 常任理事 中山 英樹



## 1.報道機関からのご質問

- ・ インフルエンザと新型コロナの同時流行  
が起きた場合の医療現場の懸念や注意点

# ○新型コロナウイルスおよびインフルエンザ発生状況（定点当たり報告数）

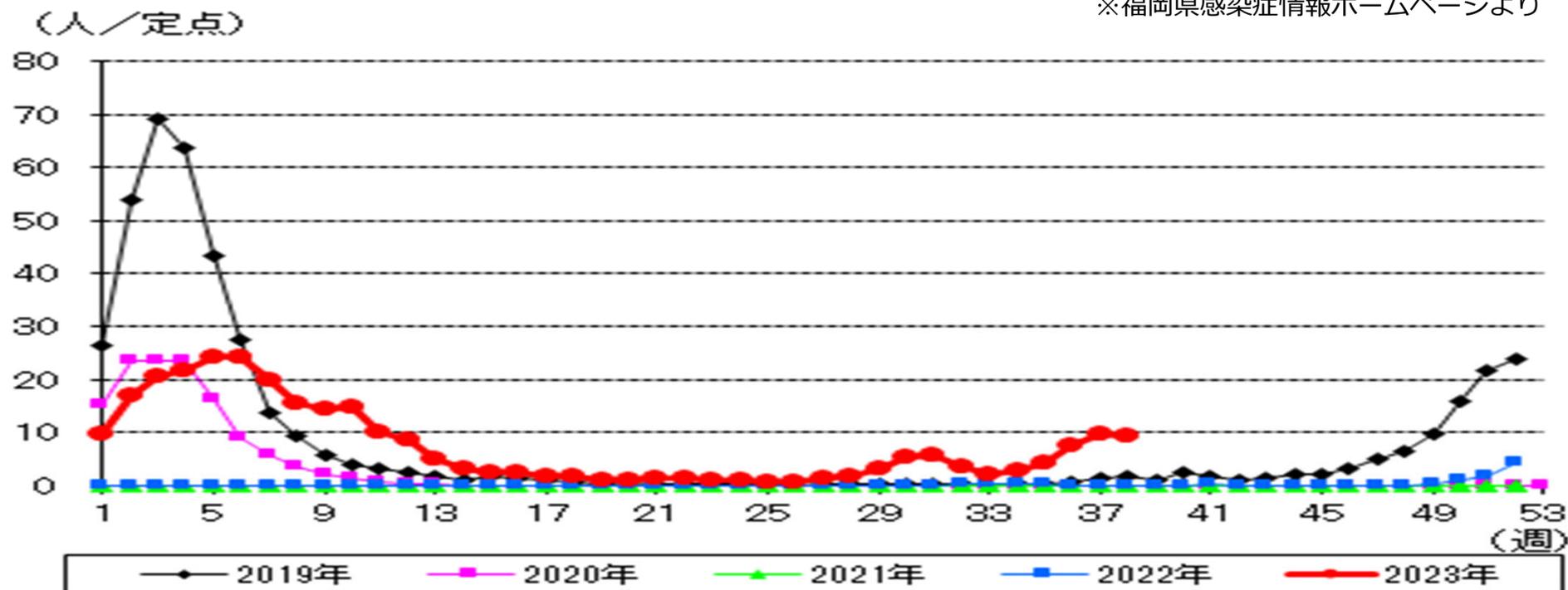


病床使用率 (月日)	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26	8/2	8/9	8/16	8/23	8/30	9/6	9/13	9/20
確保病床 使用率	10%	10%	16%	16%	19%	19%	20%	20%	26%	32%	42%	55%	64%	65%	64%	63%	59%	65%	58%	53%
うち重症病床 使用率	2%	1%	2%	1%	4%	5%	5%	2%	4%	4%	2%	7%	11%	14%	14%	13%	11%	13%	11%	7%

※厚生労働省・福岡県ホームページもとに作成

## ○インフルエンザの流行状況（福岡県）

※福岡県感染症情報ホームページより



原因	コロナ対策によりインフルエンザが流行しなかったことによる <b>免疫力の低下</b> や新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う感染対策の緩和など
対策	マスク、手洗いなどの <b>基本的な感染対策</b> および重症化予防のための <b>ワクチン接種</b>

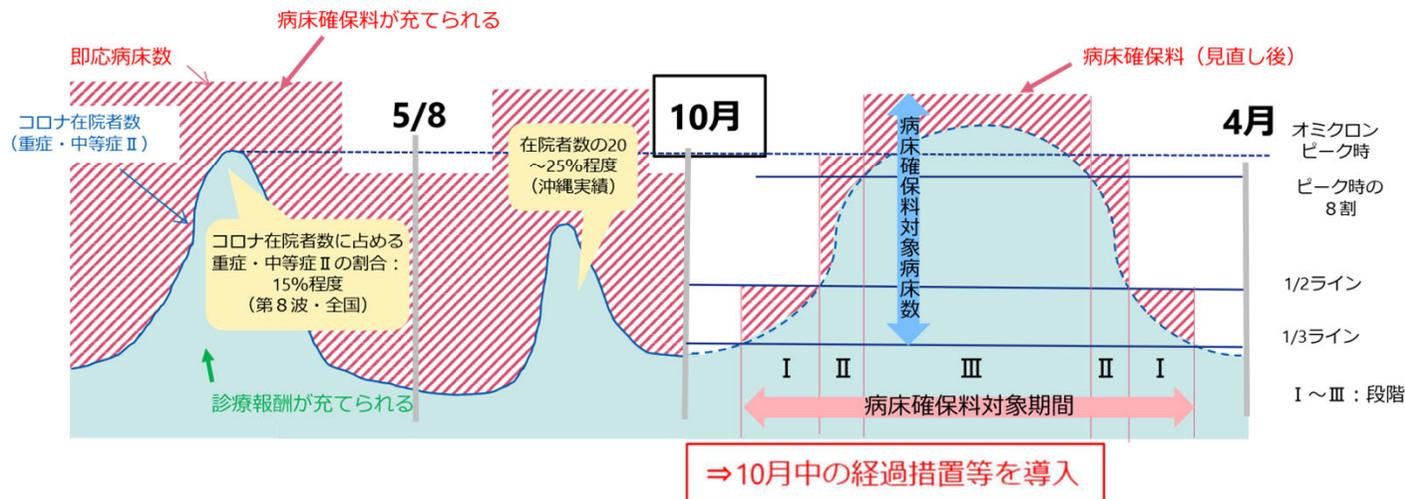
# ○令和5年10月以降の病床確保について

※令和5年9月15日 厚生労働省公表資料

## 3. 病床確保料の取扱い①

- 入院医療体制は、幅広い医療機関による対応が拡大。
- 引き続き、確保病床によらない形での入院患者の受入を進めつつ、冬の感染拡大を想定し、**対象等を重点化して病床を確保することを可能とする。**
- 通常医療との公平性等を考慮し、効率的・効果的な運用が必要であるため、病床確保料は、**対象範囲を「重症・中等症Ⅱの入院患者」**（約1.5万人（新型コロナの全入院者数の25%程度））**に重点化する。**また、**国において感染状況に応じた段階や即応病床数の目安を示し、それに応じて病床確保料の支給を行う。**（額は、診療報酬特例の見直しも参考にして見直し）

### <病床確保のイメージ（重症・中等症Ⅱ）>



### 3. 病床確保料の取扱い②

#### <重点化した確保病床に係る段階運用の考え方>

- 国は、感染状況等に応じた段階・即応病床数の目安を示す
- 都道府県は、段階に応じ、この目安に基づき即応病床数等を設定し、それぞれの感染状況等に応じて運用  
⇒ オミクロン株流行の最大在院者数（第7波又は第8波）との比較で3つの段階に分類

段階	段階Ⅰ（※1）	段階Ⅱ	段階Ⅲ
移行基準 （目安）	① ピーク時の1/3の在院者 ⇒ ピークまで約6週間	② ピーク時の1/2の在院者 ⇒ ピークまで約4週間	③ ピーク時の8割の在院者 ※「直近ピーク時の約8割の在院者数」の段階から、即応病床数の試算を開始。
即応病床数 （上限目安）	(在院者数：1/2-1/3) × 0.25	左記+ (在院者数：ピーク-1/2) × 0.25	左記 + (在院者数：2週間後の試算-ピーク) × 0.25

(※1) 1/2に達する前に受入準備を始める観点から、1/3に達した時点で準備を始められるよう段階Ⅰを設定。段階Ⅰの前から感染状況の把握等を行うことが重要。段階の設定方法は、国の目安の範囲内で都道府県の実情に応じて検討し、地域の医療機関と確認する。

- 病床確保料は、一定の感染拡大を超える段階Ⅰ～Ⅲ～Ⅰ相当の期間に重点化する。（※2）

(※2) 感染縮小局面では感染再拡大の見極めのために一定の病床確保を継続しておく必要があるため、段階Ⅰの基準に満たない水準に達した後も1週間以内に段階Ⅰに移行することを可能とする。

- ・ 経過措置として、10月の間は、段階Ⅰに達しない都道府県でも、段階Ⅰの即応病床数を上限に病床確保料の対象とすることを可能とする。

## ○令和5年10月以降の入院受入れ体制

※福岡県新型コロナウイルス感染症事務局作成資料より

[ 10月以降の移行期間における入院受入れ体制のイメージ ]

入院先	令和5年10月1日～ (移行期間)	令和6年4月1日～ (通常の医療提供体制に完全移行)
確保病床を有する 医療機関	重症・中等症Ⅱの患者に対応する病床(※1)	幅広い医療機関 (確保病床なし)
受入れ経験のある 医療機関	<p>○医療機関の機能に応じた役割分担の明確化や連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重症・中等症Ⅱの患者 : 地域の基幹病院で対応</li> <li>・軽症・中等症Ⅰの患者 : その他の医療機関で対応</li> <li>・転院可能な入院患者 : <b>その他の医療機関で対応</b></li> </ul> <p>コロナ軽症者で転院可能な患者、コロナ療養終了後基礎疾患で入院管理が可能な患者の転院先を確保し、医療のひっ迫を防ぐ</p>	
受入れ経験のない 医療機関		

※1 病床確保計画において、以下のとおり「段階」移行する。

区分	段階 0	段階 1	段階 2	段階 3
即応病床数 (重症・中等症Ⅱ)	0床	192床	770床	770床+ $\alpha$
「段階」移行基準(※2)	入院者数1,542人(最大入院者数の1/3)を目安に段階1へ移行	入院者数2,313人(最大入院者数の1/2)を目安に段階2へ移行	入院者数3,700人(最大入院者数の8割)を目安に段階3へ移行	—

※2 オミクロン株流行の最大入院者数(4,625人)で移行基準を設定。

## 2.報道機関からのご質問

- ・ 季節性インフルエンザによる学級閉鎖などが相次ぎインフルエンザが例年より早く流行している背景

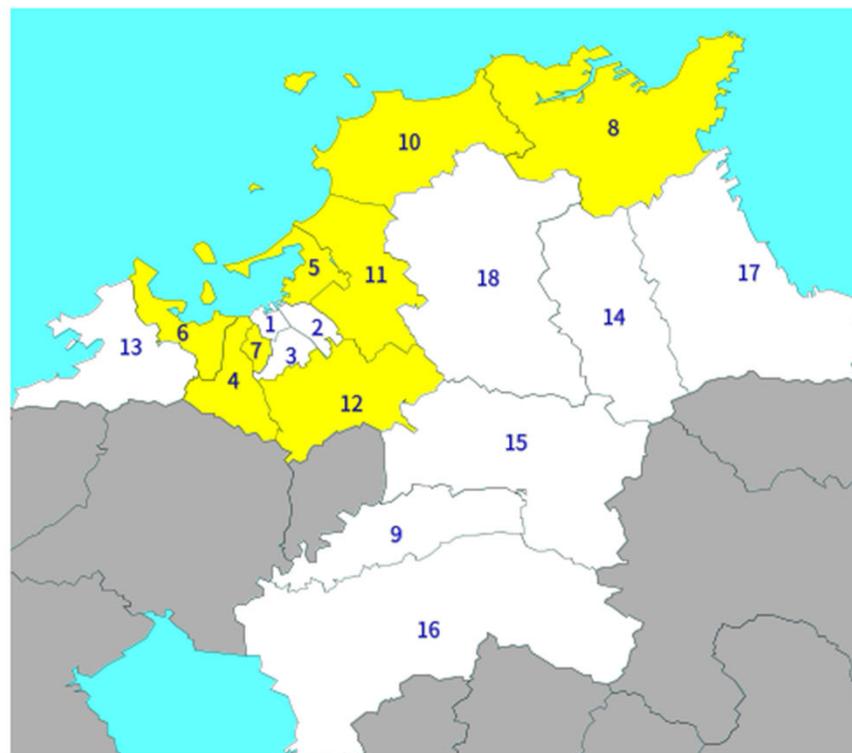
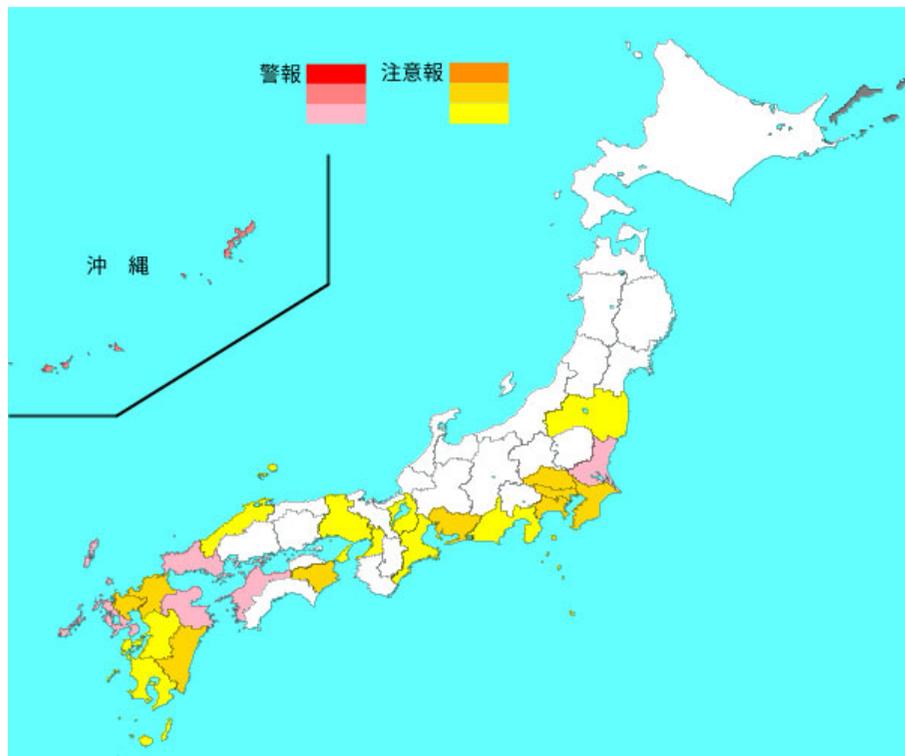
## ○福岡市感染症発生報告数（定点報告）

※福岡市ホームページもとに作成

五類感染症（定点報告）疾病	福岡市（直近5週の定点当たり報告数）					福岡県	全国	警報 レベル	注意報 レベル
	R5年34週 8/21~8/27	R5年35週 8/28~9/3	R5年36週 9/4~9/10	R5年37週 9/11~9/17	R5年38週 9/18~9/24	R5年38週 9/18~9/24	R5年38週 9/18~9/24		
新型コロナウイルス感染症	16.69	16.63	17.49	15.55	14.24	10.75	11.01		
インフルエンザ	3.25	3.65	8.63	12.65	11.25	9.19	7.09	30	10
RSウイルス感染症	1.17	0.76	1.07	1.00	0.59	0.24	0.23		
咽頭結膜熱	4.38	5.86	6.86	7.17	5.14	4.44	1.31	3	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.00	4.86	6.03	6.31	5.10	2.41	1.36	8	—
感染性胃腸炎	1.79	2.66	2.76	2.31	1.76	3.62	2.51	20	—
水痘	0.03	0.28	0.62	0.14	0.17	0.13	0.08	2	1
手足口病	2.83	3.52	2.93	3.52	2.72	2.82	1.32	5	—
伝染性紅斑	0.00	0.00	0.03	0.00	0.03	0.01	0.02	2	—
突発性発疹	0.31	0.24	0.41	0.45	0.31	0.33	0.20		
ヘルパンギーナ	2.45	3.55	2.38	1.66	1.34	1.59	0.56	6	—
流行性耳下腺炎	0.03	0.07	0.00	0.00	0.14	0.10	0.05	6	3
急性出血性結膜炎	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.01	1	—
流行性角結膜炎	1.14	0.57	0.71	0.86	0.86	1.81	0.68	8	—
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02		
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.02		
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04		
クラミジア肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

# ○インフルエンザ流行レベルマップ（2023年第38週 2023年9月18日～9月24日）

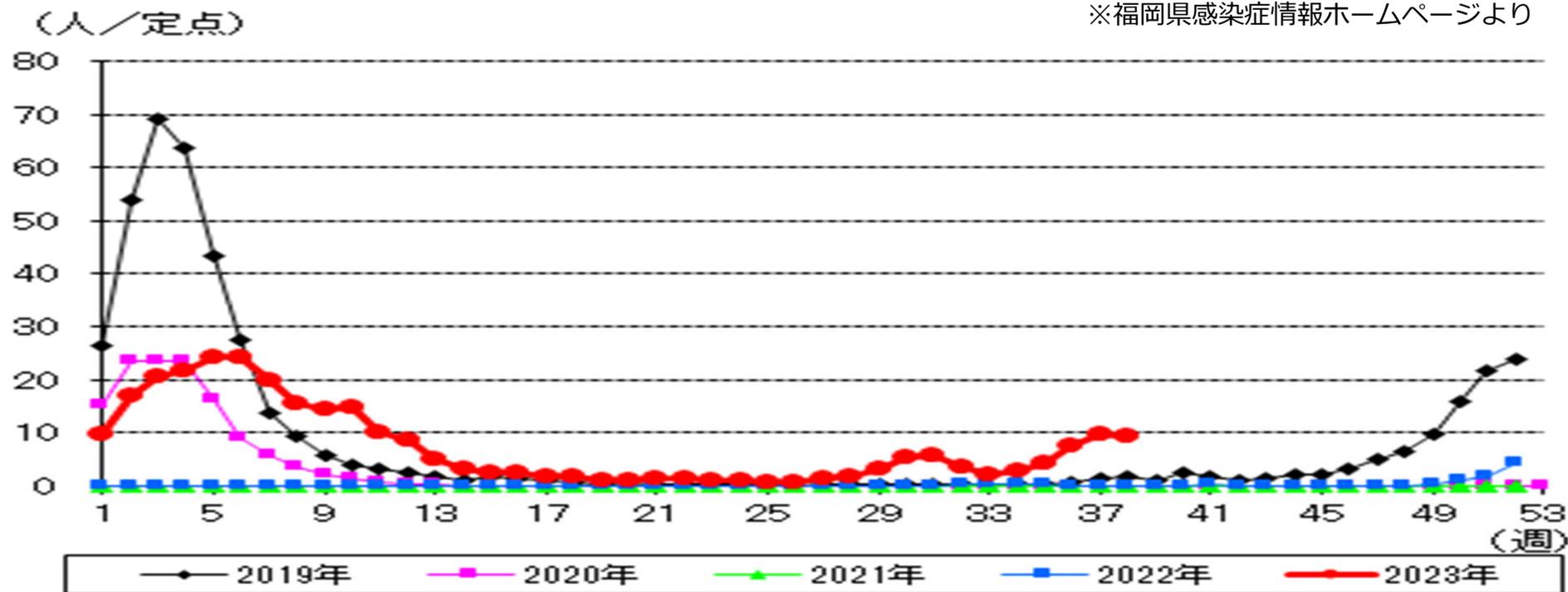
※国立感染症研究所ホームページより



NO	保健所	NO	保健所
1	中央	14	田川
2	博多	15	北筑後
3	南	16	南筑後
4	早良	17	京築
5	東	18	嘉穂・鞍手
6	西		
7	城南		
8	北九州市		
9	久留米市		
10	宗像遠賀		
11	粕屋		
12	筑紫		
13	糸島		

## ○インフルエンザの流行状況（福岡県）

※福岡県感染症情報ホームページより



## ○福岡市 9月の学級閉鎖等施設数累計（2019(令和元)年以降）

※福岡市ホームページもとに作成

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
5	発生なし	発生なし	0	93